

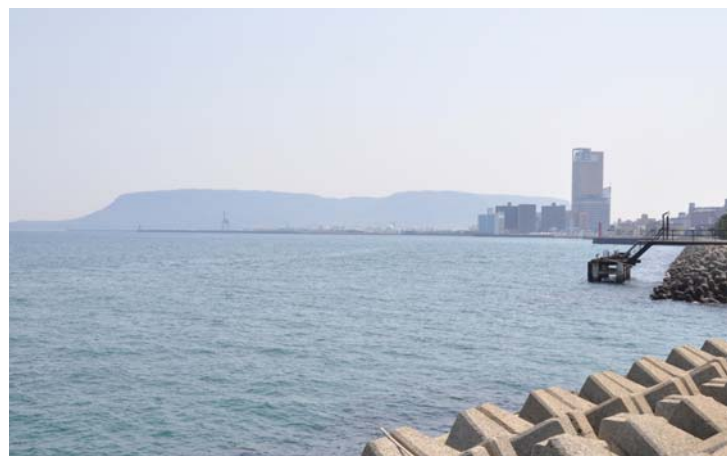


表情豊かな ウォーターフロント

多くの観光客を迎える高松の海の玄関として、開放的な雰囲気が漂うサンポート高松が面白い。今日はここを起点に、高松市中心部の海景色を訪ねてみましょう。



女木港からサンポート高松を望む



高松市中央卸売市場かいわいからの眺め

瀬戸内海は魚の宝庫

里海トピックス

さぬきマルシェinサンポート出店者 友澤 敏雄さん



日曜日のサンポート高松を会場に、香川の旬の食材やこだわりの逸品、地元シェフ自慢の一品などが一堂に会する「さぬきマルシェ」。生産者、加工業者、調理者らと間近に接し、香川の旬の食を深く知る絶好の場所です。

「瀬戸内海は四季を通じていろんな魚が楽しめる『魚の宝庫』。5月から夏にかけてはアナゴがおいしくなりますよ」と語るのは、同マルシェ出店者の友澤敏雄さん。地魚にこだわり、マルシェで讃岐でんぶくの空揚げなどを味わわせてくれ、地域の料理教室では魚のさばき方や調理法などを広く指導する料理人です。

天然はもちろん、オコゼ、ヒラメなどの稚魚放流や養殖も盛んなのが香川の特徴。「小さいものは獲らない」「海の環境を守る」ことが重要だという友澤さん。「ノリやカキの養殖は山からの水がうまく流れるとおいしくなるし、アナゴがおいしいのは『梅雨の雨水を吸うから』とも言われるように、山と水の関係はとても深い。海の環境は、山が支えている部分も大きいんです。だからこそ、私は食の提供を通じて海を大切にしたい気持ちや育んでいきたい」と、スケールの大きい視点で語ってくれました。



友澤さん



エリア 高松市

まずはエレベーターでシンボルタワーホール棟の屋上（8階）へ一気に上昇。グンと視線が高くなりますが、人や車、船の動きもよく分かり、臨場感のある港の風景が眼下に広がります（上写真）。よく晴れた日は穏やかな瀬戸内海に太陽がきらきらと反射して、さながら一枚絵のよう。間近に見える女木、男木の島影はなかなかの迫力、ヨットの白い帆が爽やかに水面を駆ける様子も見えます。より高い視界を求める人は、タワー棟29・30階の展望スペースを訪ねてみるのもお勧めです。

女木島の先端に小さく見える白い建物は、女木島灯台。島までは高松港からフェリーで約20分、桜の季節は灯台周辺の桜並木が高松側から見えるほどの近さです。夏の「さぬき高松まつり花火大会」を島の浜辺で眺めると、花火とともに華やかなサンポ



高松城

ートや屋島の夜景まで楽しめるとあって、年々人気上昇中。女木島は四季折々の「海から眺める高松港」に出合えるスポットでもあるのです。

玉藻城の愛称で知られる高松城の優美な姿も、高松港周辺のシンボル。水門で瀬戸内海とつながっており、堀は海水100%。愛媛の今治城、大分の中津城とともに「日本三大水城」に数えられる、珍しい海辺の城です。天守からの海景色はもちろん、潮の満ち引きによって水位が変化する堀では、和船での舟遊びやタイやチヌの餌やり体験も可能。海とゆかりの深いお城なので

です。

さて、高松港を離れて、海沿いに西へ向かってみましょう。高松市中央卸売市場かいわいまで来ると、さっき上ったシンボルタワーに屋島の山影が重なり、少し眺めが変化します。かつて海上防衛の要所だったという香西北町の芝山山頂に立って、埋め立てられる前の海景色に思いをはせてみるのも面白いかもしれません。短い距離ながら、豊かな表情を見せてくれる高松の海岸線。初夏の陽気に誘われて、いつもと違う風景を訪ねてみませんか。